

# さんしんレポート 2017年12月期

掲載している諸計数は単位未満を切り捨て表示しているため、増減額、合計額が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数について会計監査人監査は受けておりません。

当金庫の平成29年度第3四半期(平成29年10-12月期)の経営情報についてお知らせします。

## 1. 預金積金・貸出金の状況

(単位:億円)

	28年12月末	29年12月末	増減
預金積金残高	8,358	8,594	235
貸出金残高	4,396	4,482	86
有価証券残高	3,794	3,852	57

預金積金は、個人預金を中心に増加し、前年同月比235億円の増加となりました。  
貸出金は、住宅ローンを中心とした個人向け貸出や事業性評価に基づき金融仲介機能を発揮することで事業資金の貸出が増加し、前年同月比86億円の増加となりました。

## 2. 損益の状況

(単位:百万円)

	28年4月~12月	29年4月~12月	増減
資金運用収益	8,788	8,566	△ 221
うち貸出金利息	5,426	5,278	△ 147
うち有価証券利息配当金	3,072	3,025	△ 47
資金調達費用	613	429	△ 183
うち預金利息	611	427	△ 183
役務取引等収益	970	961	△ 9
役務取引等費用	667	726	59

利回りの低下により貸出金利息が減少し、資金運用収益が221百万円減少しました。

## 3. 不良債権の状況(金融再生法に基づく開示債権)

(単位:百万円、%)

	29年3月末	29年12月末	増減
金融再生法上の不良債権	25,441	24,802	△ 638
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,780	3,384	△ 396
危険債権	20,210	20,285	75
要管理債権	1,450	1,132	△ 317
正常債権	425,809	427,751	1,941
合計	451,251	452,553	1,302
不良債権比率	5.637	5.480	△ 0.157

平成29年12月末の金融再生法上の不良債権は、前年度末比638百万円減少し、24,802百万円となりました。  
不良債権比率も0.157ポイント改善し、5.480%となりました。

## 4. 有価証券の時価情報

(単位:百万円)

		29年3月末	29年12月末			増減
		評価差額	取得原価	時価	評価差額	評価差額
有価証券	債券	11,706	356,924	366,915	9,990	△ 1,716
	株式	1,660	3,732	6,282	2,549	889
	その他	104	24,543	24,554	10	△ 94
合計		13,471	385,201	397,752	12,550	△ 921

国内株式相場の上昇により株式の評価差額は増加したものの、高利回りの債券の償還により債券の評価差額が減少したため、平成29年12月末の有価証券の評価差額は、前年度末比で921百万円減少し、12,550百万円となりました。

## 5. その他のトピックス (10月~12月)

- ・三島信用金庫公式アプリ「さんしん」の取扱開始
- ・厚生労働大臣認定「えるぼし認定(二段階目)」の取得
- ・内定式
- ・「冬の定期預金ふゆとく2017」の取扱い
- ・第7回夢企業大賞表彰式
- ・「富士山・東北北海道広域ビジネスマッチング『食&農』  
こだわりの逸品展示会2017」の開催



お問い合わせ先

三島信用金庫 経営企画部 TEL 055-973-5721  
(土日祝日及び12月31日~1月3日を除く午前9時~午後5時)